








# 栽培計画表

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

作物名	イチゴの原産地：北米と南米の品種をオランダで交配したのが食用イチゴの始まり（ <b>バラ</b> ）科 栽培品種名：さちのか 品種の特徴：「とよのか」と「アイベリー」の交配。実は濃い赤。糖度が高く、香が良い。				
目的					
栽培方法	栽培方法：鉢植え（角深19型 白・茶）※男は茶、女は白 培養土：リサイクル土・ココピート・赤玉土・パーライト 栽培場所：3階グリーン広場（日当たり：◎ 風通し：○ かん水：△）				
生育期間と管理	成長予定	11月 定植	12月 開花	1月 結実	2月 収穫～
	管理作業	土づくり・（追肥）・（わき芽取り）・（摘葉）・（ランナー取り）・（人工授粉）・（摘果）			
選択枝： 追肥 人工授粉 摘果 ランナー取り					

管理作業の内容や方法		実際例と栽培計画のヒント											
<div>☆イチゴ用培養土（ブレンドの割合）</div> <div>・グループ設定（1種類は使わなくてもよい）</div> <div><div>①学校のリサイクル土（保水）……………4割</div><div>②ココピート（保水・排水・通気）… 割</div><div>③ピートモス（保肥）…………… 割</div><div>④赤玉土（排水・通気）…………… 割</div><div>⑤パーライト（排水・通気）…………… 割</div><div>10割</div></div> <div>★ブレンドの設定理由（右のヒントを参考に）</div>		<div>・個人設定</div> <div><div>①… 4割</div><div>②… 割</div><div>③… 割</div><div>④… 割</div><div>⑤… 割</div></div>	<div>☆イチゴは排水性の良い土を好む！</div> <div>★ブレンドの設定理由（例）</div> <div>イチゴ苗の好む土を調べると…だから、…を多めに（少なめに）した。また保肥性を持たせるために…（ヒート）も入れた。</div>										
<div>①定植の方法と注意点</div> <div>植えつけ時の注意点は株元のクラウン（短い茎の部分）を土に埋めてしまわないように浅植えにすることです。この部分を埋めてしまうと生長点（実のできる部分）を埋めてしまうことになり最悪の場合生長が止まってしまうことがあります。ポット苗は白い根がびっしりとまいてしまっている場合は根をほぐしてから植え付けましょう。株がぐらつかずに安定します。</div> <div>②かん水の方法と注意点</div> <div>イチゴは水を好みますが、やりすぎは根腐れの原因になります。かん水は必ず土が乾いてからたっぷりと与えることです。水を葉っぱなどにかけてしまうと、病気になりやすくなってしまいます。</div>		<div><div></div><div>クラウンは浅植え！</div><div>・定植の注意点は、丸い部分！</div><div></div><div></div><div>・かん水の注意点は何か？</div></div>											
<div>☆追肥の方法と注意点（次回記入）</div> <div>肥料は植えつけ1週間後、化成肥料を株元に少量与えるだけにします。有機肥料の場合は骨粉や米ぬかをバランスよく与えることが大切です。その際、固形肥料は強い効き目なので、根からなるべく遠い場所に少なめに撒くのがポイントです。（5，6粒）</div> <div>液体肥料なら、かん水の時に適量を水に混ぜて週に1度与える。</div> <div>★上記のような追肥にする理由</div>		<table><tr><td>IB 化成肥料</td><td>液体肥料</td></tr><tr><td>（10-10-10）</td><td>（5-10-5）</td></tr><tr><td>ゆっくり効く</td><td>早く効く</td></tr><tr><td>置くだけ</td><td>水に混ぜる</td></tr><tr><td>20日に1回</td><td>週に1回</td></tr></table>		IB 化成肥料	液体肥料	（10-10-10）	（5-10-5）	ゆっくり効く	早く効く	置くだけ	水に混ぜる	20日に1回	週に1回
IB 化成肥料	液体肥料												
（10-10-10）	（5-10-5）												
ゆっくり効く	早く効く												
置くだけ	水に混ぜる												
20日に1回	週に1回												

管理作業の内容や方法	実際例と栽培計画のヒント
<p><b>③ランナー取りの方法と注意点</b>          収穫に向けた栽培では、出てくるランナーは摘み取ります。根の近くからハサミなどを使いカットする。その栄養分が実の成長につながる。</p> <p>また、収穫後に伸びて来るランナーを育てると小さな苗ができます。菜の葉が4～5枚になったらランナーを2cmくらい切り離してポットに植えつけ、次のイチゴ栽培に準備ができます。</p> <p><b>④摘葉（てきよう）の方法と注意点</b>          黄色くなったり枯れてしまった葉っぱは葉の付け根から取り除いてしまいます。そのままにしておくと株に負担がかかります。カットすれば、その栄養分が実の成長につながる。</p>	 <p>・ランナーが出てくるので…</p>  <p>・枯れた葉も出てくるので…</p>
<p><b>⑤わき芽取りと注意点</b>          わき芽はクラウンの外側から出てきます。良い実をつけるには栄養分が分散しないよう摘み取ります。クラウンを傷つけないように根元を抑えて抜きます。</p> <p><b>⑥人工授粉と注意点</b>          少しずつ花が咲き始めます。受粉を助けてくれる蜂などの虫達が少ない場合は、筆や耳かきの房の部分で花の中心部分をトントンと軽く叩き、受粉を助けてあげましょう。</p> <p><b>⑦摘果（てきか）の方法と注意点</b>          数多く結実したら小さい実から摘果します。摘果しないと、全部がイチゴになり、とても小さなイチゴになってしまう。また次の花も小さくなり、どんどん悪循環にはまってしまう。摘果する事により、株への負担を最小限にして、大玉のイチゴを収穫する事ができます。</p>	 <p>わき芽取りの様子</p>  <p>人工授粉の様子</p> <p>これなんだ？</p> <p>・摘果しないとどうなるのかな？          ・どのような実を摘果すればいいのかな？</p>
<p><b>⑧病気と害虫対策の注意点</b>          イチゴがかかりやすい病気はうどん粉病です。もし発生したら、初期段階ではお酢を300～500倍に薄めたものをスプレーするか、うどん粉病になった葉を除去し様子を見ましょう。それでもダメなら果菜用の殺菌剤などを散布すると良いです。</p> <p>イチゴに発生しやすい害虫はアブラムシです。アブラムシは肥料をあげすぎると発生しますので、追肥は適量を守りましょう。もし発生したら、毎日の水やりの際に葉の裏表にしっかり水をかけることを繰り返すと被害が収まる場合が多いです。</p> <p>イチゴが赤く色付くと鳥に狙われやすくなるので、キッチンの水きりネットやお茶の葉パックなどの不織布袋などで覆うと良い。</p> <p><b>⑨収穫と注意点</b>          開花から1ヶ月もすると実を収穫することができます。赤くなったものから順次収穫していきます。収穫は朝のうちにいった方がいいです。</p>	<p>・どんな病気（害虫）で、どんな症状？          どんな対策があるのか？</p> <p>・収穫して良い実の状態は？          ・収穫は、朝か昼か夕方か？          ・手で摘み取る？ ハサミ？</p>